

【技術の名称】 シンウォール耐震工法 ー高強度薄型増打ち壁補強工法ー	性能証明番号：GBRC 性能証明 第20-19号 性能証明発効日：2021年2月22日
	【取得者】 株式会社リーテック 太平洋マテリアル株式会社 株式会社クオリア設計 山陽建設サービス株式会社

【技術の概要】

本技術は、既存建築物の耐震補強に適用する既存壁の増打ちによる補強工法である。本工法の特徴は、既存壁の増打ち部にプレミックスタイプの高強度グラウトコンクリートを充填することによって、従来よりも壁厚が薄い増打ち壁を構築できる点にある。ここで、本工法で用いる高強度グラウトコンクリートは一工程で施工するため、従来工法において、増打ち壁の中下部の施工後、上部グラウトを圧入していた工程が不要となり工期短縮も図ることができる。また、充填材がプレミックスタイプであり現場練りによる施工が容易となることから狭小地や建物周辺道路の交通量が多い場所などでの補強工事へも対応できる。

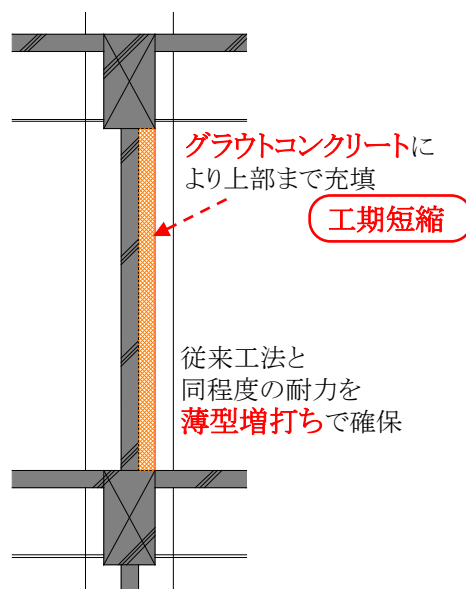
【技術開発の趣旨】

従来の鉄筋コンクリートによる増打ち壁補強では、耐震補強架構の耐力を確保するために壁厚が増大し既存梁側面に増打ち部分が設けられることが多く、天井や隠ぺい配管類の撤去・復旧工事が付随されて工事費の増加や工程への影響などの課題が発生する。また、コンクリートポンプ車やトラックアジテータなどの大型車両を設置するスペースが無い建物への耐震補強工事では施工する事が困難となる場合も多くあった。本工法は、これらの課題の解消または軽減を意図して開発されたものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「シンウォール耐震工法 設計・施工指針」に従って設計・施工された既存架構と鉄筋コンクリート造増打ち壁は、同指針で定める終局耐力および変形性能（耐震診断において用いる靱性指標F値）を有する。



- ・既存梁側面への増打ちなし
- ・天井、隠ぺい配管を存置
- ・重量増加や室内スペースの減少を抑えられる

図 本技術の概要

【本技術の問合せ先】

株式会社リーテック

担当者：久保 匠

E-mail：t-kubo@re-tech.co.jp

〒540-0005 大阪市中央区上町一丁目25番11号リーテックビル

TEL：06-6767-0011

FAX：06-6767-0022